

2021 ティータイム通信

9

発行/
建設許可(般-2)16806号
(財)住宅保証機構登録店
人にやさしい家づくり

株式 みのりホーム
会社
松山市福音寺町42番地6
Tel 089-976-0047
[HP] [みのりホーム](#) [検索]
[E-mail] minori@minori-group.com

心のふれあいを大切に

株式 みのり商会
会社
愛媛県松山市福音寺町42番地6
Tel 089-976-0050
[HP] [みのり商会](#) [検索]
[E-mail] minori@minori-group.com



来住モデルハウス 10月中旬公開終了予定 & 新 南梅本モデルハウス 今秋OPEN!

現在公開中の来住町モデルハウスは10月をもって公開終了となります。

無垢のフローリングや漆喰壁といった無添加住宅ならではの素材に、間接照明やシームレスのキッチン空間などこだわりの詰まったモデルハウスは、完成してからたくさんの方にお越しいただきました。皆様ありがとうございます!

10月までは内覧出来ますので、まだご覧になっていない方や、もう一度見てみたい方はぜひこの機会にお越しください!



次の新モデルハウスは南梅本に **新** 今秋OPEN予定となっています!

こちらはコンパクトながら機能的に生活できる空間を目指した設計で、在宅ワークや家で長く過ごす時間を快適に出来るよう工夫を凝らした間取になっています。公開まで楽しみにお待ちください!



※日程については今後変更となる可能性があります。詳細については追ってHP等でお知らせいたします。

スーパーラジエントヒーターお料理実演会開催!

参加費 無料 予約制

Point! 次世代型の「遠赤外線」セラミックヒーター SUPER RADIANT HEATER

その1:手間なし! 「巨大ハンバーグ」
フライパンいっぱいのハンバーグもムラなく焼き上がる秘密とは??

その2:時短! 「ほかほかご飯」
土鍋で炊いたようなご飯がたったの20~30分で炊きあがる!

その3:ヘルシー! 「驚嘆の大学いも」
カロリーと揚げるのと美味しい大学芋。けど、その油分が気になる!?

- 遠赤外線でお料理すると、素材の美味しさが引き立ちます!
- フラットなのでお掃除も楽々!

しかも、IHとは違い、どんな材質の鍋でも使用可能!
アルミ・陶器・銅・ガラス...etc.底がフラットな鍋ならOK!

各3組 限定

9/20 月・祝 料理実演時間 **10:30~14:00**
ご予約は **089-976-0047**まで

みのり商会コーナー オススメ賃貸物件

第8みのりハイツ福音寺

賃料 **33,000円~41,000円**

- 所在地 〒790-0921 松山市福音寺町319-5
- 敷金 1ヶ月 ●礼金 0円 ●共益費 4,000円
- 水道料 2,500円(2人は3,500円) ●駐車料 6,000円
- 町費 275円 ●家財保険料(2年) 15,000円(税込)
- 鍵交換料 10,000円(税別)ご希望の方。
- 建物 鉄筋コンクリート造 4階建
- 交通 伊予鉄福音寺駅より徒歩3分
イヨテツスポーツセンター前バス停より徒歩4分
- 備考 インターネット無料で使い放題!
防音性の高い鉄筋コンクリート造!
宅配ボックスあり!
駅近く!!南面道路で日当たり良好!!

おすすめポイント

- 防音性の高い鉄筋コンクリート造
- スーパー、コンビニ、駅まで徒歩圏内



詳しくはみのり商会まで TEL:089-976-0050

新入社員紹介

みなさま、はじめまして。
8月からみのり商会に仲間入りさせて頂きました「泉 香織」です。
まだまだ勉強する事ばかりですが、先輩方の様に、お客様とのお縁を大切に、お客様の頼れるパートナーになれる様に頑張りますので宜しくお願ひ致します。



— 父上様 —

「お～い、しおりちゃん今日も元気にしていたか～？」
 「お父さんもポチポチやりよらい！」
 これは南予に住む86歳の我が父上様から度々かかってくる電話の第一声です。幼い頃から父親っこだった私は、嗜好も顔もよく似ていていつも金魚のふんのようにくっついていたものです。
 昔から私は就寝時、枕元にアルバムを置き(今の時代は携帯かも)数枚目を通した後、眠りにつくのをルーティンにしています。家族旅行、OL時代、孫の成長とか・・・
 しかし最近では、両親の元気な頃の写真をみるのが多くなりました。まだ若かりし頃の写真は生き生きして、いつも笑っていて家族を守ってくれた感がひしひしと伝わってきます。
 父はいつも「若い者には負けやせんぞ」と力こぶを見せてくれました。

グループホームいくし
 須之内 志緒里



あ～時は流れている。
 今では年を取り身体が衰え、頑固になった父。そこで私たち三姉妹が介助を分担して行うようにしました。私は週末担当です。(コロナ次第で行かないときも)
 会うとまずする事は、明るい話、面白い話で笑いを誘い・・・その後、愚痴や武勇伝、趣味のペタンクの話の話をひたすら聞き続けます。その後、食事の支度に掃除。最後の仕上げは父の広くて大きな肩をもみほぐし「大丈夫、大丈夫」と言って両手をぎゅっと握りしめ終了です。少し照れくさいですが、永遠ではない父の温もりを感じる一瞬です。
 夜は更け「じゃ～またくるね！」「お～待ってるよ！」の聲が田舎の空に響き渡ります。
 さて、今日は水曜日、そろそろ私の携帯に父上様から着信が来る頃です。「お～い、しおりちゃん、元気か？」
 ホームページ <http://www.yawaragi-ehime.com/>

今月の **栗田工務店** ビフォー・アフター **Before→After** 安心・安全・快適リフォーム!
改装工事 完成!! 施工例 松山市 H様邸



キッチンにはホワイトに統一し、リビングと和室の間仕切壁を撤去し、一続きの広い空間になりました。和室は、一面のみ明るいグリーンアクセントクロスを貼りました。更に、畳を琉球畳にすることでスッキリと明るい空間になりました。洗面所の床は、お施主様が選ばれたオシャレなモザイクタイル調のクッションフロアに張り替えましたので、身支度が楽しくなるような洗面所になったのではないのでしょうか。



担当：西尾

●お問合せは **株式会社 栗田工務店** ☎ 0120-70-1516



基礎工事着工しました

来住町で基礎工事が始まりまして。何と「無添加住宅仕様の賃貸住宅」です。天然石の天板の造作キッチンや洗面台などを備え、内外壁には漆喰を、ドアや床にも本物の木を使った仕様になっています。オーナー様が無添加住宅の理念に共感していただいた事がきっかけではじまった計画がいよいよ形になっていきます。オーナー様にも入居者の方にも喜んでいただけるよう精一杯がんばります！



ハンモック

先日お引き渡しのお客様のリビングに設置された1点吊りのハンモックです。最近人気のようで2点吊りやスタンドタイプなど色々あります。天井の梁をみせて直接取り付けしていますので強度も安心です。包み込まれる癒しのアイテムです。ご検討いかがでしょうか。



吹き抜けのガラスブロックが演出する光の空間

T様邸

「ハウスメーカーのモデルハウスにも行ったんですが、何だか決まりきった提案しかなくて、こんなものかなあ?って思っていました」と奥様が言えば、ご主人も「モチベーションが全然上がらなかつたんで家づくり自体をやめようか?みたいな話をしてみましたね～」と当時のことを思い浮かべて苦笑い。大手だから～というイメージに期待を持っておられた分、その落胆ぶりは大きかったようです。そんな時に出会ったのが無添加住宅!「ひと目見て、ステキだなあって感じて、ワクワクしてきたのを覚えています!」という第一印象だったとのこと。「急激に家づくりへの気持ちが高まって来ました!」と何度か完成見学会に参加されて決めたそうです。T様邸はその外観からしてとっても個性的。玄関側から見ると自然素材ならではのソフトな雰囲気が、裏に回ると天然石が荒々しくあしらわれています。「外観の一部に使ってみません

か?って言われてその通りにしたら、大正解でした!気に入っています」とご主人。奥様のお気に入りリビング。「ガラスブロックが30個もあって、そこから入る光があるのであまり電気を付けません。明るいのはもちろんですが、天気によってリビングの様子が変わるのでそんなところも楽しんでいます」と、自然光に反射して表情を変える自然素材の雰囲気に大満足のご様子のおふたりでした。



無添加
 ニュースレター
 MUTENKA NEWS LETTER

間違いだらけの日本の住宅!?
 もう一度、家の基本を見つめよう その3

たった30年で大切な家を台無しにしないために。私たちはもう一度、原点に戻ってあるべき家の基本について考えてみる必要があるのではないのでしょうか?
 家の基本と言えばやはり木材です。昔、輸入などしていなかった時代の日本の家は、その土地にあるものを使って建てられていました。材料の木も地元の木を使い、地元の

草を使って来たのです。
 当然、木にもいろいろな種類があり、その使い方も長い歴史の中で決められてきました。長い歴史は長い実験と同じことで、その貴重な実験結果に基づいて土台にはヒノキやヒバ、柱にはスギやヒノキ、梁や床板はマツ、また障子・ふすまには紙、畳にはい草、さらに土壁と漆喰を使いました。
 構造材には虫やカビに強いもの、残りは虫に弱くとも良いものを使うという考え方で、見事にバランスがとれています。現在のように「健康住宅」とうたいながら内装のすべてを杉板貼りにしているようなアンバランスな家はほとんどなかったのです。

使い分け、要するに適材適所という考え方で、木の特性を活かした家づくりがなされていたのです。詳しくはまた次回にお話ししますね。お楽しみに!

